

新オニバイド+5FU/I-IV療法

【内科】91【膵癌】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 2週ごとを1コースとする

Day	1	2	8	9	~14
施行日	/	/	/	/	
オニバイド	↓	休薬	休薬	休薬	
アイソボリン	↓	休薬	休薬	休薬	
5-FU	↓	↓	休薬	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順			
①	<table border="1"> <tr> <td>アロカリス注235mg 1V デキサート注6.6mg 1V グラニセトロンバッグ 100mL</td> <td>30分</td> </tr> </table>	アロカリス注235mg 1V デキサート注6.6mg 1V グラニセトロンバッグ 100mL	30分
アロカリス注235mg 1V デキサート注6.6mg 1V グラニセトロンバッグ 100mL	30分		
※②	<table border="1"> <tr> <td>生食 100mL</td> <td>30分</td> </tr> </table>	生食 100mL	30分
生食 100mL	30分		
※②	<table border="1"> <tr> <td>同時 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL</td> <td>2時間</td> </tr> </table>	同時 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL	2時間
同時 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL	2時間		
③	<table border="1"> <tr> <td>●オニバイド注【 】mg 5%ブドウ糖 500mL</td> <td>1時間30分</td> </tr> </table>	●オニバイド注【 】mg 5%ブドウ糖 500mL	1時間30分
●オニバイド注【 】mg 5%ブドウ糖 500mL	1時間30分		
④	<table border="1"> <tr> <td>生食 50mL</td> <td>10分</td> </tr> </table>	生食 50mL	10分
生食 50mL	10分		
⑤	<table border="1"> <tr> <td>●5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL</td> <td>約46時間baxtar infusion pumpで</td> </tr> </table>	●5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL	約46時間baxtar infusion pumpで
●5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL	約46時間baxtar infusion pumpで		

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
オニバイド注	70 mg/m ²	mg/Body
アイソボリン注	200 mg/m ²	mg/Body
5-FU注	2400 mg/m ²	mg/Body

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
 - インラインフィルターは使用しないこと。
 - オニバイドは腸閉塞患者には禁忌。
 - オニバイドの血管外漏出時は、炎症性抗がん剤としてマニュアルに沿った対応をすること。
 - UGT1A1 * 6若しくはUGT1A1 * 28のホモ接合体を有する患者、又はUGT1A1 * 6及びUGT1A1 * 28のヘテロ接合体を有する患者では、1回50mg/m²を開始用量とする。
- なお、忍容性が認められる場合には、1回70mg/m²に増量することができる。

入力 薬剤師	看護師	看護師